

Small Talk台本（第2時・第3時のはじめ5分）

進め方（外国語活動）：帯活動として単元の後半に2回。3年は先生の話聞くことが中心で、ペアは2回目だけ30秒×2回（相手を替えて）。1回目のペアのあとに中間指導（下の「ことばの補給」）を挟む。なりきりではなく先生の本当の写真と、先生のかばんの中のもの話す。

話題1 先生の写真のかくれんぼ（第2時）

板書：先生の写真1枚（家の犬・好きな動物など）を画用紙でかくして持つ。英文は書かない

T Hello, everyone! Look! My photo. My favorite photo!

みんな、こんにちは。見て、先生の写真。先生のお気に入り！（画用紙でかくしたまま高く見せる）

S What's this?

これなあに？（全員で。第1時のかくれんぼと同じたずね方・ずらすたびにもう一度）

T Hint! It's brown and white.

ヒント。茶色と白。（画用紙を1cm ずらす）

T Hint! It's an animal. It's small.

ヒント。どうぶつ。小さい。（もう少しずらす）

T It's my dog! Kotaro! I like my dog.

先生の犬！コタロウ！先生はうちの犬が好き。（写真をぜんぶ見せる）

つまった子への助け舟：答えは日本語でも当たり（「いぬ！」→先生が Yes! A dog! と英語で言い直す）。What's this? は全員で言う（1人に言わせない）。

話題2 先生のかばんの中（第3時）

板書：先生のかばん（中に、先生の本当の物を1つ。キーホルダーのぬいぐるみなど）。英文は書かない

T Look! My bag. Something is in my bag.

見て、先生のかばん。中に何か入っているよ。（かばんを軽くふってみせる）

S What's this?

これなあに？（全員で）

T Hmm... It's an animal. It's... a cat? No, no. It's... a panda? Yes!

うーん、どうぶつだ。ねこ？ちがう、ちがう。パンダ？そう！（目をつぶって手を入れる）

T Look! My panda. Cute!

見て、先生のパンダ。かわいい！（とりだして見せる）

S What's this? It's my notebook!

ペアで。机の中の物を1つ、せなかにかくして少しずつ見せる→相手が What's this?（30秒×2回）

つまった子への助け舟：日本語の予想は、先生が英語でくり返す（「ねこ！」→A cat?）。とがった物は見せない。



中間指導 1回目のあとに全体で（ことばの補給）

第3時のペアの1回目のあとに全体で：「先生は、さわりながら何て言っていたかな？」と聞き、a cat? No, no. a panda? Yes! のように、まちがえても言い直してよいことを確かめる。ふやすのはこの1つだけ。→ 相手を替えて2回目は、当てる人が It's... a ball? No. と言い直しながら当ててよい。このあとのハテナボックスで、さわる代表の子が迷いながら言えるようにする（当たらなくても、言い直しにはくしゅ）。

対話を続けることば 黒板横に掲示しておく

はじめる	Hello!
たずねる	What's this? (みんなで)
こたえる	It's a dog!
ヒントをたのむ	Hint, please!
ひとこと感想	Wow! / Cute!
たしかめる	Pardon?
おわる	Thank you. / See you!

先生へ

- ・3年の Small Talk も先生の話聞くのが中心。第2時はペアにしない（子どもの役は、ずらすたびに全員で What's this? とたずねること＝第1時に出会ったたずね方を、先生の本当の物で使う）。第3時のペアも30秒×2回で十分
- ・写真とかばんの中身は、先生の本当のものに差し替えてよい（Word版で書き換えられる）。写真はペット・すきな動物・旅行先の景色など。写真の答えはシート1の9まいに無いものにする（第2時のヒントでたっちの答えを先に言わない）。かばんの中は、さわって名前と言えるもの（ぬいぐるみ・ボール・バナナなど）
- ・話題1のヒントは、このあとのヒントでたっちと同じ「色→なかま→大きさ」の順。話題2で、さわった感じのことば（soft・round）は言わない（第3時の 5-12 で入れる）。音声は先生と子どもの声で、話題ごとに1本ずつ